

スノーダクトカバー 「ポリの介」

クリアタイプで簡単確認！
一体形状なので耐久性抜群！
耐熱性・耐寒性に優れてる！

●塩ビ製品とポリカーボネート製品の比較

ポリカーボネート樹脂製の、クリアタイプで89%透明なので、ダクト内の状況が簡単に目視して確認出来る。

塩ビ製については、不透明なので取り外ししないと確認出来ない。衝撃強さ（アイゾット）は、塩ビ製に比べて約26倍割れにくい。

脆化温度は、塩ビ製に比べて約3倍優れている。熱変形温度は、塩ビ製に比べて約2倍優れている。

日本ポリエステル株式会社調査より

項目	項目説明	ポリカーボネート	塩ビ	備考
アイゾット 衝撃強さ	ノッチと呼ばれる切り込みを入れた試験片の片側を固定し振り子型のハンマーで衝撃荷重を加え、試験片が破損した時の衝撃値を求める試験。	780 J/m	30 J/m	約26倍ポリカの方が割れ難いと言える。
熱変形温度		140℃	65～70℃	約2倍ポリカの方が耐熱性に優れていると言える。
脆化温度	素材の弱化が起こる温度。	-135℃	-20～-40℃	約3倍ポリカの方が耐寒性に優れていると言える。
全光線透過率		89%	不透明	ポリカの方がダクト内の状況が確認が容易に出来る。



15 [kgf] × 3列 × 4段 = 180 [kgf] 積載状態
断面方向から撮影

アイゾット衝撃強さは？・・・よく使われる衝撃に対する強さを表す単位。単位は J/m または kgf・cm/cm など。

ノッチと呼ばれる切り込みを入れた試験片の片側を固定し、振り子型のハンマーで衝撃荷重を加えて試験を行う。

計測は試験片破壊後、振り子がどの角度まで振り上がったかを測定、角度から計算して衝撃値を求める方法。

●ポリの介、中央部たわみ測定結果

積載荷重 [kgf] ※1	m ² 荷重換算 [kgf/m ²] ※2	たわみ量 [mm]	備考
0	0	0	
45	143	5.05	
90	286	9.46	
135	429	13.44	
180	571	18.20	
180	571	19.15	3日後
180	571	19.37	4日後
180	571	19.38	5日後
180	571	19.42	6日後
180	571	19.45	7日後
180	571	19.57	10日後
180	571	19.65	11日後
180	571	19.96	12日後
180	571	20.03	13日後
180	571	20.62	19日後
180	571	20.87	20日後
180	571	20.92	21日後

※1：重りは、15 [kgf] の砂袋を3列×4段まで積載した。

※2 m²荷重換算は幅 315 [mm] (実測長さ) × 長さ 1000 [mm] として面積を設定。



15 [kgf] × 3列 × 4段 = 180 [kgf] 積載状態
横方向から撮影



15 [kgf] × 3列 × 4段 = 180 [kgf] 積載状態
横方向から撮影

